

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		りんくうタウン調整事業				②事業番号		1306	
③事業類型		8. 人件費事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		⑦実施手法		O 直営		O 設定なし	
⑧関連予算科目コード		款		2		項		1	
⑨担当部名		総合政策部		⑩担当課名		政策推進課		会計	
								一般	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 大阪府		① 大阪府		団体	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
関西国際空港(以下「関空」)の対岸に位置するりんくうタウンの現状、課題などについて、大阪府と緊密に連携を取りつつ、りんくうタウンのまちづくりについて意見交換と情報共有を行う。		① 協議会数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
泉南市が目指すりんくうタウンのまちづくりに対して、大阪府にそのビジョンの理解と積極的な協力を得る。		① 協議会項目数		項	
		② 企業立地割合		%	
		③			
		計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
りんくうタウンに関する共通課題に連携して対応することによって、りんくうタウンを産業の集積ゾーン及びレクリエーションゾーンとして再生させる。		政策(章)		3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち	
		施策大(節)		2 さまざまな製造業が集積し、また新たな産業が発展していくまちをめざします	
		施策中		2 新産業の導入	
		施策小		1 新産業の導入検討	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	大阪府	団体	1	1	1	1	1	
対象指標②								
活動指標①	協議会数	回	8	8	0	0	0	
活動指標②								R2は協議会は開催せず、意見照会のみであった。以降は開発が進んだことから、随時開催。
活動指標③								
成果指標①	協議会項目数	項	24	24	0	0	0	
成果指標②	企業立地割合	%	100	100	100	100	100	
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.10	0.06	0.06	0.06		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	811	463	458	458		
	直接事業費	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	811	463	458	458		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
一般財源		千円	811	463	458	458		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	関空の開港に伴い、空港の玄関口及び空港関連産業の集積を目的として大阪湾を埋め立ててりんくうタウンを整備した経緯あり。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	関空の開港に伴い、空港の玄関口及び空港関連産業の集積を目的として大阪湾を埋め立ててりんくうタウンを整備した経緯あり。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	大阪府との検討を通じ、(仮)りんくう公園整備事業の推進する。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

C

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	りんくうタウンの活性化は、本市のまちづくりにとって重要な課題であり、大阪府や2市1町(泉南市、泉佐野市、田尻町)で連携してきたが、当該地区の開発が進んだことにより必要性が低下し、協議会は随時開催となった。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	現在、りんくうタウンへの企業進出が100%となっているため、一定の成果は得られている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	大阪府の公園用地については、大阪府との検討会を積極的に進めることによって、新たな活用方法を検討している。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	りんくうタウンの協議については、企業誘致を含めて企業間の連携構築やにぎわいづくりなど、全般的な調整を行っているため、他部署では行っていない。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	大阪府と協議、調整を頻繁に行うことが事業効果を上げる方法であるため、経費を削減することは困難。
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	D	報告、意見交換すべき事項は見当たらないことから、当連絡会については、存続はするものの、会合は必要が生じた場合に開催することとし、定期的な開催は行わないこととなった。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

工	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (3 年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		-
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		-